

所 属	教育委員会 学校政策課		
担当(係)名	幼・小中担当	内 線	3 5 4 7
	高等学校担当		3 5 4 9
	教育改革担当		3 5 5 5

(款)10教育費	(項)1教育総務費	(目)(4)教育指導費
(明細書事業名) 生徒指導対策費 青少年健全育成の推進		

1 当初予算(要求)額(千円)

243,864

2 当初予算(決定)額(千円)

239,845

(前年度187,900)

【財源内訳】

国 庫

115,093

一般財源

124,752

3 事業概要

学校を取り巻く諸環境が大きく変化する中、子どもたちの多くが心の問題を抱えており、その問題を解決するためには学校の教師はもちろん、臨床心理士や精神科医といった教育相談スタッフとの協力が必要となっています。

そこで岐阜県では、各学校におけるカウンセリング機能の充実を図るために、スクールカウンセラーや心の教室相談員、心のパートナーといった「心の専門家」を配置し、いじめや不登校の未然防止、早期解決を目指します。

また、さまざまな奉仕体験や、勤労生産体験を通じて、人との豊かなかわりや働く喜び、苦勞を学ぶことで、思いやりの心、協調性、忍耐力、責任感を持てる人間性、社会性豊かな子どもたちを育てます。

4 施策の効果

[平成14年度の実績等]

相談体制の充実により、教員や保護者との連携のもと、不登校やいじめ問題の解消が図られつつあります。また、さまざまな体験活動プログラムを通して、子どもたちの自主性・社会性の育成が図られつつあります。

スクールカウンセラー設置事業・・・中学校35校

心の教室相談員調査研究・・・中学校141校

カウンセリング研修講師派遣事業・・・小中学校あわせて35校

ほほえみ相談員設置推進事業・・・小学校20校

県立高校農園クラブ設置事業・・・高校58校

高校生インターンシップ推進事業・・・高校65校・参加生徒数9,153人

(人数は予定者)

平成15年度についても各学校における緊急性や市町村の意向を調査の上、いじめ、不登校、暴力行為といった問題の解決を目指し、青少年の健全育成を進めていきます。

5 要求の内容

青少年の健全育成を推進するため主に次の事業を実施します。

スクールカウンセラー設置費 (予算要求額 129,660千円)

カウンセリングの専門的な知識・技能を有する臨床心理士等を「スクールカウンセラー」として中学校に配置(89校)し、問題の早期発見・早期解決のために、子どもたちの心の相談にあたります。

心の教室相談員調査研究費 (予算要求額 44,100千円)

中学生が悩み等を気軽に話し、ストレスを和らげられるように、地域の身近な人を「心の教室相談員」として配置(105校)し、その活用方法等に関する調査研究を行います。

カウンセリング研修講師派遣事業費 (予算要求額 1,944千円)

教員のカウンセリング技術向上を図るための研修会を行う中学校(54校)に対して専門家を派遣し、学校全体のカウンセリング機能の一層の充実を図ります。

小学校心のパートナー設置推進事業費 (予算要求額 18,480千円)

小学校に、不登校の児童及び保護者に対して教育相談や家庭訪問を行う「心のパートナー」を設置し、不登校児童の減少を目指します。

ほほえみホットライン学校復帰支援調査研究事業費 (予算要求額 9,746千円)

1年以上学校を欠席している長期不登校児童生徒の学校復帰を支援する方法を調査研究します。

適応対策推進費 (予算要求額 7,495千円)

精神科医等の教育相談に関する専門家が、県内各圏域や高等学校に出向き、不登校や問題行動についての相談に対しアドバイスを行います。

生徒指導トライアングル活動推進事業費 (予算要求額 3,600千円)

生徒指導全般において、「予防」と「対応」の両面から「家庭」「地域」「学校」が連携し、総合的に生徒指導を推進することにより、問題行動の未然防止、生徒の健全育成を図ります。

ハートフル体験活動推進事業費 (予算要求額 9,000千円)

小・中学生の異年齢の集まりによる2泊3日以上宿泊体験活動を、児童生徒自らが企画・運営することを通して、協調性・忍耐力・責任感など豊かな人間性・社会性を育成することを目指します。

豊かな体験活動推進事業費 (予算要求額 6,466千円)

小・中・高等学校等における社会奉仕体験等の充実を図るため、県内2地域を「体験活動推進地域」に、また異なる環境における豊かな体験活動を推進するため県内2地域を「地域間交流推進地域」に指定し、各推進校にPTA、企業、自治会、福祉関係者等による「学校活動支援委員会」を設置します。

県立高校農園クラブ設置事業費 (予算要求額 9,762千円)

各県立高等学校において、地域の身近な自然環境の中で、農作物の育成についての体験的、継続的な学習を通して、作物の生長や収穫の喜びを感じることで、生命や自然、食料の大切さを学び、豊かな人間性や望ましい勤労観の育成を目指します。

高校生インターンシップ推進事業費 (予算要求額 3,611千円)

高等学校と産業界とが連携し、インターンシップを実施することで、生徒が主体的に進路を選択できる力を持つとともに、職業観や勤労観を身に付け、生きる力を大きくむことを目指します。

6 用語の解説

<インターンシップ>

生徒が在学中に、自分の学習内容や将来の進路などに関連した就業体験をおこなうこと。正規の学校の教育活動の一環として行われるものであり、いわゆる「アルバイト」とは異なります。

7 決定内容

スクールカウンセラー設置費 129,660千円

心の教室相談員調査研究費 44,100千円

カウンセリング研修講師派遣事業費 1,944千円

学校におけるカウンセリング機能の充実を図るため、3学級以上の中学校(194校)のうち、スクールカウンセラーを89校、心の教室相談員を105校に配置し、また今後スクールカウンセラーを配置する中学校54校にカウンセリング研修講師を派遣することとし、それぞれ所要額を措置した。

小学校心のパートナー設置推進事業費 18,480千円

小学校においても不登校の問題が深刻化していることから、緊急性の高い22校に配置することとし、所要額を措置した。

ほほえみホットライン学校復帰支援調査研究事業費 6,000千円

ITを活用した学習や体験活動等により学校復帰を支援する全国初の不登校対策として1市町村で実施することとし、所要額を措置した。

適応対策推進費 7,495千円

高等学校におけるカウンセリング機能充実を図るため、臨床心理士等を配置することとし、所要額を措置した。

生徒指導トライアングル活動推進事業費 3,600千円

問題行動の未然防止、生徒の健全育成を図るため、12地区で実施することとし、所要額を措置した。

ハートフル体験活動推進事業費 9,000千円

豊かな人間性・社会性を育成するため、6市町村でモデル的に実施することとし、所要額を措置した。

豊かな体験活動推進事業費 6,466千円

「体験活動推進地域」2地域、「地域間交流推進地域」2地域で実施することとし、所要額を措置した。

県立高校農園クラブ設置事業費 9,500千円

全県立高等学校において、豊かな人間性や望ましい勤労観の育成を図るため、農作物育成についての継続的な体験学習を実施することとし、所要額を措置した。

高校生インターンシップ推進事業費 3,600千円

高等学校における体験学習の教育上意義を重視し、全日制の公立高等学校全学科でインターンシップを実施することとし、所要額を措置した。